

いよいよ2月から5年生の学習が始まります。本科テキストは文章単元と語句単元に分かれています。まずはテキストの構成に慣れて下さい。

5年生の前期では「書かれている内容同士のつながりをつかむこと」、「さまざまな文の作りを覚えること」が目標です。

第19回～第22回では、説明文を学習することで、「内容同士のつながりをとらえる」ことや「文章中の手がかりをもとに内容をとらえる」ことを学習します。

また、「読む」「書く」ツールでは、語句単元として「文節・主語・述語」「修飾語の役割・係り受け・文図」「並立の関係」「修飾部の主語・述語」を学習し、文の作りの基本知識を身につけます。

宿題用教材の「栄冠への道」は、必ず授業動画を視聴した後で取り組んで下さい。

まず、「思い起こし①②」を使って、授業で学んだことを整理します。内容を読んで書き入れたりチェックをつけたりして確認しましょう。

「学び直し①」では授業で学んだことを確かめるために、文章を読んで問題を解いていきます。テキストに書きこむこともできますが、5年生からはノートを用いて解くことを心がけましょう。ノートを使うことで、「どこを間違えたのか」が見やすくなり、ふり返りもしやすくなります。

『「読む」』『「書く」ツール』で学んだことを使ってみようでは、授業で取り上げた語句問題を復習し、知識の定着をはかります。問題を解いたら、マル付けとまちがい直しも忘れずにしておきましょう。

「学び直し②」は、自分なりに考えてみる問題を、「学び直し③」は、難度の高い問題を扱っています。時間に余裕があれば取り組んでみましょう。

「栄冠への道」は授業の内容を忘れないうちに取り組むようにしましょう。

◆第19回 説明文 重要語句と要点／文節・主語・述語

説明文の基本的な読解方法を学習していきます。今回は「これがないと話の内容がわからなくなる」という言葉である「重要語句」のとらえ方を身につけることによって、文章の中で大切な部分を見つけられるようになることが目標です。

また、「読む」「書く」ツールでは「文節・主語・述語」を学習することで、文の作りを身につけます。文節や文の作りを正しくつかめるようになることが目標です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題1・2

「読む」「書く」ツール・・・①～③

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～④

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第十九回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～4 ※動画内で解説しています。

◆第20回 説明文 中心文と要点／修飾語の役割・係り受け・文図

前回学習した「重要語句」の知識を使って、「文章の中で、筆者が伝えたいことをまとめている一文」(中心文)を見つけられるようになることが目標です。

また、「読む」「書く」ツールでは「修飾語の役割・係り受け・文図」を学習します。修飾語の役割や係り受けを理解し、正しい文の組み立てをつかめるようになることが目標です。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・課題1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²(文章題)・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章¹・・・オプション 探求

文章²・・・1～4 ※動画内で解説しています。

◆第21回 説明文 指示語／並立の関係

説明文に限らず、文章中では「指示語」を用いて、文章の別の部分を指し示しながら書かれていることが多くなります。今回は、「指示語」に着目して、文章の内容をきちんと読み取っていくことが目標です。指示語は、前後のつながりを意識して文章内容を読む時に役立つ言葉です。しっかりと使い方と指示語が指す内容を考える手順を身につけていきましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「並立の関係」を学習します。並立の関係をつかむことにより、「文の中でいくつかの内容が並べて書かれている」内容を正しくつかむことができるようになります。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章¹・・・課題1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁴

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の²(文章題)・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・¹～⁵

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十一回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション シナジー

文章②・・・1～4 ※動画内で解説しています。

◆第22回 説明文 接続語の使い方／修飾部の主語・述語

今回は「接続語」に注目して、言葉と言葉、文と文、段落と段落のつながりをつかめるようになることが目標です。接続語も指示語と同様に、文章内容を正確にとらえるための手がかりになります。これまで学習した「重要語句」「中心文」の知識も使って、文章の内容を正しくつかめるようになりましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「修飾部の主語・述語」について学習します。文の中心となる主語・述語、修飾語の部分にも主語・述語が含まれている文について考えていきます。複雑な文の内容を正しくつかめるようになりましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・課題1・2

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～6

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二十二回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～4 ※動画内で解説しています。

いよいよ2月から新5年生の学習を進めていきます。第19回、第20回は、約数・倍数について学習していきます。第21回は小数計算のしくみについて学習します。

各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第19回 数と計算 ～約数と公約数～

「約数とは、整数が余ることなくある整数で割り切れる数」のことでしたね。つまり、約数とわり算は非常に近い関係であるということです。このイメージをしっかりとつかんでおくとういでしょう。また、整数をかけ算で構成する一番小さい数「素数」は非常に面白い数でもあります。興味があれば、調べてみましょう。まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～③、知識技術①～⑤

② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑤

③ 「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①, ③

栄冠への道・・・学び直し③①, ③, ④

ひとりで問題と向きあうための準備①～④

◆第20回 数と計算 ～倍数と公倍数～

「倍数とは、整数を1倍、2倍、3倍、…とした数」のことでしたね。つまり、倍数とかけ算は非常に近い関係であるということです。約数は細かく分けていくイメージ、倍数は大きく広げていくイメージとなりますね。また、倍数は同じ数ずつ増えていくことになります。当たり前のことですが、解法のヒントになることもありますので、理解をしておきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術①～⑤

② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑤

③ 「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法③, ⑤, ⑦

栄冠への道・・・学び直し③①, ②, ③, ⑥

ひとりで問題と向きあうための準備①～④

◆第 21 回 数と計算 ～小数の計算・逆算～

小数の計算の仕組みをきちんと学習する単元は今回で終了です。しっかりと定着させるためにも、意識を高くもって取り組んでおきましょう。ただし、整数の計算ができる皆さんであれば、心配することはありません。計算の仕組み自体は整数計算と同じですからね。あとは小数点の位置に気を付けながら正答までたどりつくようがんばりましょう。注意するのは小数のわり算です。「どの位まで計算するのか?」「わり切れるまで計算するのか?」「余りを求めるのか?」「四捨五入するのか?」、問題文をしっかりと読むようにしましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～7

②「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1～4

栄冠への道・・・学び直し③2, 3

ひとりで問題と向きあうための準備1～5

◆第 22 回 数と計算 ～分数と倍分・倍分～

今回から、いよいよ分数を扱うことになります。分数には、具体量を表す数（私はこの肉を $\frac{1}{3}$ kg 食べた）の側面と、割合を表す数（私はこの肉の $\frac{1}{3}$ 食べた）の側面とがあります。このちがいを明確にしていくことが大切になります。倍分・約分などしっかりと理解していくと、このちがいもより明確になります。また、同分母のたし算・ひき算も学びましたが、これは3年生から学んでいるので大丈夫ですね。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術 1～8

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～8

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1

栄冠への道・・・学び直し③1, 2

ひとりで問題と向きあうための準備1～5

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第19回 数と計算 ～約数と公約数～

「約数はわり算」が基本的なイメージとなります。今後、「余り」がテーマとなることが多くなってくるので、しっかりと学習を深めていきましょう。また、「素数」か「素数の積からできている数（合成数）」かを考えることで、より深い理解につながります。

◆第20回 数と計算 ～倍数と公倍数～

「倍数はかけ算」が基本的なイメージとなります。今後、約数と倍数の区別がきちんとできているかを問うような問題も増えていきます。「～をわり切れる数」は、「～の約数」ですが、「～でわり切れる数」は、「～の倍数」であることに注意しましょう。

◆第21回 数と計算 ～小数の計算・逆算～

小数の計算の仕組みは必ず理解しておきましょう。「かけ算」では、小数点の位置を最後に確認していきましょう。また、「わり算」では、必ず問題文に指示（「わり切れるまで計算しなさい。」など）が書かれていますので、確認してから答えを書くようにしましょう。今後、「1あたりの量」を意識する問題が増えていきます。そのためにも、「小数のかけ算」「小数のわり算」は必ずマスターするようにしましょう。

◆第22回 数と計算 ～分数と約分・倍分～

いよいよ分数に取り組んでいきます。分数は単位（kg、m、Lなど）のついているもの、つまり量を表すときと、単位がなく（倍がついていることはある）何倍であるかを表すときがあることを理解しておきましょう。今回学習した「約分・倍分」は、第19回・第20回で学習した「約数・倍数」と大きく関わっています。

いよいよ5年生の学習が始まります。新学年という「始まり」をむかえ、真新しい気持ちで勉強にスポーツに力を発揮していきましょう。さて、2月の理科では「種子と発芽のつながり」「根・くき・葉のつくり」「花の役割」「呼吸・光合成と蒸散」について学習します。まだまだ寒い時期が続きますが、風邪には気をつけて気持ちよくスタートを切りましょう。

◆第10回 種子と発芽のつながり

さまざまな種子のつくりを学んだり、発芽するときの条件について何に着目してくらべるのかをとらえていきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・種子のつくりをちがいに注目しながら理解しよう。
- ・発芽の様子を双子葉と単子葉のちがいに注目しながら理解しよう。
- ・発芽の条件を調べる実験の方法を理解し、どのような条件が必要か考えよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第11回 根・くき・葉のつくり

植物の体のつくりとその働きが同じところに着目し、植物の体のつくりがどのようなになっているのかをとらえていきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・植物の根、茎、葉のつくりと働きを理解しよう。
- ・単子葉植物と双子葉植物のからだの作りのちがいを理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第12回 花の役割

花のつくりや仲間を増やしていくための働きについて学んでいきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・花のつくりとその働きを理解しよう。
- ・代表的な花の特ちょうを覚えよう。
- ・花粉の運ばれ方や受粉の仕組みを理解しよう。
- ・種子ができるには受粉が必要であることを確かめる実験の手順の意味を理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第13回 呼吸・光合成と蒸散

植物が生きるために行っている呼吸・光合成・蒸散の3つの働きを学びます。それぞれの働きやしくみについて考えてみましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう

- ・呼吸、光合成、蒸散の仕組みを理解しよう。
- ・光合成や蒸散の実験の手順について意味を考え、結果からどのようなことがわかるのか考えよう。
- ・呼吸、光合成、蒸散の3つの働きのつながりを理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第10回 世界の中にある日本

- 1 緯度と経度を学習します。緯度のちがいにより気温が異なり、経度のちがいにより時間の差が生じるなどについて、しっかりと理解しましょう。
- 2 日本列島の位置や広がりについて学習します。緯度と経度を使い、東西南北の広がりや、東西南北の端にある島についても確認しておきましょう。
- 3 日本にふくまれるおもな島々と排他的経済水域について学習します。テキストにのっている島について、インターネットを使い調べてみてもよいですね。また、「排他的経済水域」といった用語の意味を、テキストにある図などで理解しておいてください。「社会探検」には、日本の面積や、世界の国の中で面積の広い国などについて記されています。ぜひ地理資料集を広げてこれらの国々の位置を確認しましょう。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞白地図ノート P 1 2 (海)

◆第11回 日本列島の成り立ち

- 1 日本列島がユーラシア大陸から、切りはなされていく過程を確認しましょう。「社会探検」には、ジオパークについて記されています。読んでおきましょう。
- 2 日本列島付近にある4つのプレートと日本列島の成り立ちについて学習します。プレートの動きにより、日本列島では地震がよく発生します。伊豆半島付近には3つのプレートがぶつかっていますね。だから伊豆半島付近には温泉が多くわき出ているのです。
- 3 日本の海岸線の特色(半島、湾)や湖について学習します。おもな半島や湾、湖の名をここでは覚えておきましょう。「コラム」には、都道府県別の海岸線の長さが記されています。島の数が多いと海岸線が長くなる傾向にあることに気づけばよいです。
- 4 地震がおきるメカニズムを理解しましょう。太平洋のまわりでは地震が多く発生しています。今後も大きな地震がおきることが予測されているので、しっかりとその対策も講じておかないといけません。

【これもおさえておこう！】

☞オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞白地図作業ノート P 1 3 (島)、P 1 4 (半島)、
P 1 5 (湾・海峡)、P 1 6 (湖)

◆第12回 山がちな地形と人々の暮らし

- ① イギリスと比かくすることで、いかに日本が山がちであるかを確認しましょう。「コラム」には、標高の高い山が記されています。地図帳で位置を確認してください。するとある場所に集中していることがわかるでしょう。
- ② 日本列島が山がちであることの理由や山地・山脈・火山について学習します。前回に引き続き、プレートの話が出てきます。
- ③ 山地・山脈は人々の行き来を妨げてきました。それだけではなく、降った雨水が太平洋へ流れるのか、日本海へ流れるのか、その境目になっていたり、季節風をさえぎることで、雨を降らせたりと、山地・山脈はさまざまなことに関係しています。また、山地・山脈には森林が広がっています。天然の三大美林、人工の三大美林を覚えましょう。なお、中央分水嶺という語句が出てきますが、重要な語句ではありません。時間があれば、「コラム」や「社会探検」を読んでおきましょう。

【これもおさえておこう！】

☞ オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞ 白地図作業ノート P 8 (火山)、P 9 (山地・山脈)

◆第13回 川がつくる平地と人々の暮らし

- ① 平野が川の働きによってつくられること、日本の川は世界のおもな川と比べると長さが短く流れが急であるという特色を持つことなどを学習します。川と平地(平野・盆地)はセットで覚えるようにしてください。テキストの地図をよく見て覚えましょう。水系(本流、支流、分流)という語句が出てきますが、重要な語句ではありません。
- ② 川と地形の関係をさらに深めて学習します。河岸段丘・扇状地・三角州といった重要な地形について学習します。それぞれの地形の特色を理解しましょう。
- ③ 平野の特色、とくに危険性について学習します。川が運んできた土砂がつもって平野ができたということは、洪水がおきやすいということです。防災や減災を意識しましょう。ご自身の住む地域のハザードマップを、市役所などのホームページで確認してみるのも面白いでしょう。

【これもおさえておこう！】

☞ オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

☞ 白地図作業ノート P 10 (川)、P 11 (平野・盆地)